

赤い手袋

小川未明

青空文庫

政雄は、姉さんからこさえてもらいました、赤い毛糸の手袋を、学校から帰りに、どこでか落としてしまったのです。

その日は、寒い日で、雪が積もっていました。そして、終日、空は曇って日の光すらささない日でありましたが、みんなは元気で、学校から帰りに、雪投げをしたり、また、あるものは相撲などを取ったりしたので、政雄も、いっしょに雪を投げて遊びました。そのとき、手袋をとって、外套の隠しの中に入れたような気がしましたが、きつとよく入れきらなかつたので、途中で落としてしまったものとみえます。

政雄は、家に帰ってから、はじめてそのことに気づきました。

いよいよなくなってしまうと、なつかしい赤い手袋が目につ
いてなりませんでした。それも、そのはずであつて、毎日学
校の往来に、手にはめてきたばかりでなく、町へ買い物にやら
されたときも、この赤い手袋をはめてゆき、お湯にいったとき
も、この赤い手袋をはめてゆき、また、夜、かるたを取りに近
所へ呼ばれていったときも、この赤い手袋をはめていったか
らであります。

それほど、自分に親しいものでありましたから、政雄は、惜し
くてなりません。それよりも、もつと、こんなに寒いのに、雪の
上に落ちていたことが、手袋にとつてかわいそうでなりません
でした。

「どんなにか手袋は、家に帰りたいと思っ
ているだろう。」と
かんが
考える
と、政雄は、どうかして探してきてやり
たい気持ち
がした
のであります。

けれど、そのとき、やさしい姉さまは、
政雄をなぐさめて、

「わたしが、またいい代わりをこしらえて
あげるから、この風の
寒いのに、わざわざ探しにいかなくて
もいいことよ。」とおつし
やつたので、ついに政雄は、その赤い
手袋のことをあきらめて
しまいました。

ちようど、その日の暮れ方でありました。
空は曇って、寒い風
が吹いていました。あまり人通りもない、
雪道の上に、二つ
の赤い手袋がいつしよに落ちていました。

いままで、暖かい外套のポケットに入っていた手袋は、冷たい雪の上にさらされてびっくりしていたのです。

このとき、町の方から、七つ、八つの男の子が、手足の指を真っ赤にして、汚らしい着物をきて、小さなわらじをはいて、とぼとぼやってきました。

この子は、遠い村に住んでいる乞食の子であつたのです。昼は町に出て、お錢や、食べ物をもらつて歩いて、もはや、日が暮れますので、自分の家へ帰つてゆくのでした。子供はとぼとぼときかかりますと、雪の上に、真っ赤な手袋が落ちているのが目につきました。

子供は、すぐには、それを拾おうとせず、じつと見ていまし

たが、そのうち、小さな手を出して、それを拾い上げて、さも珍しそうに見とれていました。子供は、前には、こんな美しいものを手にとつて見たことがなかったのです。町へ出まして、いろいろりっぱなものを並べた店頭を通りましても、それは、ただ見るばかりで、名すら知らなかったのであります。

子供は、なんと思いましたが、その赤い手袋を自分のほおにすりつけました。また、いくたびとなく、それに接吻しました。けれど、それをけつして、自分の手にはめてみようとはいたしませんでした。

子供は、たいせつなものでも握ったように、それを抱くようにして、さびしい、雪道の上を、自分の家のある村の方を指して、

とぼとぼと歩いてゆきました。

日暮れ方を告げる、からすの声こえが、遠くとおの森もりの方ほうで聞きこえていました。

子供こどもは、やがて大きな木きの下したにあつた、みすぼらしい小屋こやの前まえにきました。そこが子供こどもの家いえであつたのです。

小屋こやの中なかには、青あおい顔かおをして、母親ははおやが黙だまつてすわつていました。そのそばに、薄うすいふとんをかけて、十じゅうばかりになる子供こどもの姉あねが病びょうき気でねていました。その姉あねの女おんなの子この顔かおは、やせて、もつと蒼あおかつたのであります。

「姉ねえちゃん、いいものを持つてきてあげたよ。」と、子供こどもはいつて、赤あかい手袋てぶくろを姉あねのまくらもとに置おきました。けれど、姉あねは返へ

事^{んじ}をしま^せんでした。細^{ほそ}い手^てをしつかり胸^{むね}の上^{うえ}に組^くんで、このときもう姉^{ねえ}さんは死^しんでいたのです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 一」講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷

1977（昭和52）年C第3刷

初出：「小学男生」

1921（大正10）年3月

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：雪森

2013年4月10日作成

2013年12月3日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

赤い手袋

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>